

「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）の公募について

イノベーション推進チーム
河 川 課

1 要旨

平成 30 年 7 月豪雨の発生など、豪雨の更なる頻発化・激甚化が懸念される中、的確な避難行動につなげるため、AI、IoT 等のデジタル技術を活用し、よりきめ細やかな防災情報を提供する取組を進めているところである。

こうした中、最新のデジタルテクノロジーを活用して様々な課題解決を図るオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」のうち、「行政提案型の実証プロジェクト」として昨年度選定した 8 件が進行しているところである。

このたび、簡易型水位計の開発や水位観測カメラシステムの構築について、実証プロジェクト（行政提案型）による公募型プロポーザルを実施することとしたので報告する。

2 公募の概要

(1) 提示公募テーマ

テーマ	概要
① 簡易型水位計	身近な箇所における河川のリアルタイム情報を拡充させることを目的とした、低コストで容易に設置可能な水位計
② 水位観測カメラシステム	低コストのカメラによる画像から水位データ等を取得すること（量水標等を使用した水位到達状況の把握を含む）ができるシステム

※委託件数は① 2 件、② 2 件を予定。1 件あたりの委託額は 5,000 千円を上限。

(2) 公募対象者

県が提示するテーマに対し、AI、IoT 等のデジタル技術を活用した技術構築を提案する者。

(3) 審査方法

総務局、商工労働局、土木建築局の委員からなる選定委員会において、第 1 次審査（書類審査）、第 2 次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する。

3 スケジュール

令和 2 年 5 月 28 日（木）	公募開始（県のホームページ等で公告）
7 月 10 日（金）	企画提案締め切り
7 月 13 日（月）～	審査・採択候補先の選定
8 月下旬	選定結果の通知・公表
契約日～令和 2 年度末	実証プロジェクトの実施

4 その他

ひろしまサンドボックス推進協議会会員を含む県内の企業や大学、首都圏のスタートアップ企業等についても、オンラインイベントの実施により、公募プロポーザルの実施について広く情報発信する。